京城日報

歐洲大戰亂

▲獨墺使節と希臘皇帝
帝は未だ動かされず—更に有力なる外交家の來著を待つ

獨墺側の特派使節は希臘皇帝コンスタンチン陛下に謁見し償欵の貸附を提議し且つ聯合軍のサロニカ上陸に反對せんことを希望せしが皇帝は此れに依つて動かさるゝに至らず使節は尚ほ雅典に止り有力なる外交家の來著を待ち居れり(倫敦電報)

▲希臘の對英佛露態度
双方の間に尚ほ厚意を存す

雅典來電に據れば英佛露の三國公使は十二日希臘新首相スコウロウヂス氏と會見し聯合軍が希臘領土內に避難せる場合に希臘は如何なる態度を執る可きかを問ひ聯合軍と塞耳維との間に區別を設けられんことを主張せり此れに對する希臘の回答は未だ不明なるも双方の間に厚意を存するを以て滿足なる解決を見る可しと信ぜらる(倫敦電報)

▲獨軍奇襲
佛兵之を斥く

巴里公報に曰く、十四日獨軍はラビリンスを奇襲し我塹壕第一線の一部に侵入せるが我軍は直に敵を驅逐し多數の負傷者を遺棄せしむるに至れり佛軍の砲兵はブラトウイブロンに於ける敵を粉碎せるがシャムペニユー及ミーズ高地に於ては砲戰繼續せられつゝあり(倫敦電報)

▲獨軍失敗

露都來公報に據れば獨軍はエクスカル地方に於て再び攻擊を企てたるが擊退せられたりチヤウトリツクの附近に於ては激戰繼續せられ我軍の砲火はスター河方面に進出せんとせる敵の計畫をして畫餠に歸せしめたり(倫敦電報)

○加藤氏終に退任
近藤社長は留任

日本郵船會社副社長加藤正義氏は後輩の進路を開くとの理由に依り辭意を申出でしが近藤社長も豫て辭意を申出で居きたれば此際兩人一時に辭職するは社務に差支を生ず可きを以て順序上自分先づ辭す可ければ加藤氏は社長となりて社務を視られよと懇望し他の取締役よりも慫慂切なるものありしも加藤氏は初志を曲げず終に十三日限り退任するに決し近藤氏は已む無く留任に決せり(東京特電)

○贈位敍勳訂正

本月十日の官報號外を以て贈位敍位敍勳發表の節故從四位下酒井忠讓は故從四位上、大谷嘉兵衛の勳四等は勳三等の何れも誤り馬越恭平の上に勳四等の三字を脫し故從四位下秋元禮朝は故從四位の誤りなる旨官報を以て訂正せられたり(東京特電)

○海上の提灯行列
門司の大典奉祝

北九州地方引續き晴天、福岡縣一般十五日まで靜肅に奉祝したるが十六日より十七日まで各地盛んに賑ひを呈す門司市は十六日午前十一時より奉祝宴會を開き各町の賑ひ湧くが如く夜は陸上の提灯行列と海上の小蒸汽船艀等八十餘隻の提灯行列盛んなる可し(門司特電)

○安東祝賀盛會

十六日午後三時三十分より安東縣公會堂にて官民合同の大祝賀會を開かれたるが來會者四百餘名甚だ盛會を極む此の日夜來の雨漸く歇み烈風吹き荒みしも各町の餘興出物市內を練り廻り夜間は提灯行列あり參加無慮一千名全市歡樂の巷と化す(安東特電)

○光州の賜饌日

十六日正午より行はれたる全羅南道賜饌拜戴式に列する者四百九十六名の多きに上り又道長官主催に係る奉祝宴會に列する者七百九十名にて光州市內雜沓を極む(光州特電)

雜報

●形勢監視
急轉測る可からず

▲支那通告不誠意 帝政問題延期に關する支那政府の通告は既報の如くなるが之れより先き九日支那政府は密に某有力者を我が公使館に派して小幡代理公使に面會し支那政府は四國の勸告と內地の狀勢に鑑み本年內帝政實施を延期すべき意嚮を漏らしたるが帝國政府は期限付延期は元來勸告の根本精神に背戾するものなるを以て斯かる陳情は全然之れを相手にせざりし所支那政府も四國の協調案外固くして其態度も仲々強硬なるに頗る驚駭したる折柄十日上海に於て鄭鎭守使の暗殺事件あり支那政府も愈々四國に致したる回答の手前上今更狼狽したりけむ十一日陸外交總長は日英露佛の四國公使を外交部に招請し帝政延期に關する長文通告を朗讀したるが其內容に於て延期の期限は附せざれども支那政府は國體變更準備の都合上茲に當分其實行を延期すべしてふ意を主としたるものなる由

▲帝國と支那通告 思ふに右の通告は其眞意に於て未だ四國の友誼的勸告の精神を充分滿足せしむべきものに非ずして謂はゞ支那政府が內外の情勢より一時逃れの延期をなさんとする極めて不徹底の陳述に外ならずして準備の都合上當分之れを延期することを其主旨とせし意に致つては蓋し其間に於て內は反對の黨派を强壓し外は四國協調の情勢を計つて萬一乘ずべき隙だにあらば直に帝政を實施せんとする不誠意極まるものにして勸告の精神を無視し四國の强固なる協調を誤解せるものゝ如きを以て帝國政府は勿論他の三國も本問題に就いては既に充分其の方針を發表しあれば何れも右通告に不滿足なるに一致し依然既定の方針に基き帝國政府の如き該通告に對して何等特に協議する要なく今姑く形勢を監視するに決し居れるが或は支那一流の外交にて更に何等か通告し來たるやも知れず其模樣にて形勢は何れにか急轉するに至るべき乎と(京都特派員發)

十六日夕刊

發行所 合資會社 京城日報社
編輯兼發行人 [illegible]
印刷人 [illegible] 京城太平通一丁目

●賜饌拜戴式
敬虔の氣塲に滿つ

京畿道管內に於ける地方賜饌拜戴式は豫記の如く十六日正午より景福宮內慶會樓下に於て擧行されたり、此日蕭々たる秋雨あり神韻の氣塲の內外に溢れ莊嚴の感人の襟を正さしむかくて定刻に先つこと十分二發の喇叭に依りて二千餘名の拜戴者入塲位階官等に依りて各自設けの席に著けば更に喇叭一聲の合圖あり、山縣政務總監謹んで拜戴並に御詞執奏の辭を述べ諸員賜饌を拜戴す、軈て國歌たる君が代の奏樂に次ぎ政務總監天皇陛下の萬歲を三唱すれば諸員一同之れに和し其聲樓域を壓するの槪あり、時に午後一時右了つて政務總監先づ退出し諸員續いて退塲之れより慶會樓下に於ける奉祝會に入る

●景福宮の大禮奉祝會
參會者二千餘名

大饗賜饌は別項の如く景福宮內勤政殿に於て擧行したるが引續き午後一時半より慶會樓に於て大禮奉祝の園遊會を開會す折柄の雨を冒して來集する者日鮮外人等二千有餘名第一燦竹にて婦人及び外國人等入塲續いて第二の合圖にて一般の來賓入塲し各々の座席に著く其より塲外に設けられたる奏樂堂に於て君ケ代を奏する嚠喨たる聲と共に一同容儀を正し奉祝の誠意を表す軈て政務總監の壯重なる音頭にて天皇陛下の萬歲を三唱し食堂を開く此日此式塲は慶會樓下四十八本の大石柱は大注連を以て裝り白布を掩へる各食卓には菊花又は松の盆栽等を配して頗る擬重を極めたり斯て各々十二分に奉祝の誠意を交換して第三の燦竹を合圖に模擬店に向ふ模擬店は最初神武門內の醉香亭池畔一圓に十七箇所に設けられたるも雨天のため俄かに勤政殿周圍の翼廊に移轉したるため一同處にて順次歡を盡し三時退散したり

●京城水道水源擴張

京城水道の水源池は逐年市內の給水增加と共に既に夏期中は屢々斷水の餘儀無きに至りたれば四年度の總督府豫算に其の水源池擴張豫算を計上せしも豫算不成立と共に實行するに至らざりしが明大正五年度豫算にも計上しあり經費は十二萬餘圓にして爰の計畫に基き鷺梁津の仁川水源池の給水餘裕あるを利用し之を漢江を經て南大門外に引き市の給水不足を補ふ豫定なりと

●軍艦新高

釜山碇泊中なりし帝國軍艦新高は十四日午後十二時皇禮砲發射十五日午前拔錨某方面警戒任務の途に就けり(釜山)

●共進會と經濟調查

京城日本人商業會議所にては曩に開會したる共進會が京城經濟界に影響したる結果に就て目下調査中なるが近々月報誌上にて發表すべしと

●四府令の協議

警務總監部に於ては近く發表す可き府令勞働者募集取締、料理屋、飮食店取締、宿屋下宿業取締、藝娼妓酌婦取締の四件の草案を脫稿し目下協議中也と

●徵兵令認定學校

文部省普通學務局に於ては徵兵令認定を受けたる學校に關し調查進行中にして十月一日現在にて學校長及教員宛て普通學務局長より總督府內務部に現在生徒數前學年中卒業者本年の入學者前學年半途退學者教科書目錄に關する調查方照會ありたるを以て內務部にては不取敢之れが調查報告方を京畿慶南兩道長官及び京城釜山兩中學校長に移牒せしと

●仁川十月荏子輸移出

仁川十月中の荏子輸移出は二萬五百五十九圓にして同月は米豆類と共に出廻り盛んに內地東京大阪其他の地方への移出の牛皮と共に頗る目覺ましきものありたり從つて市場賣行きも良好にして尙ほ續々生產者移出せらるゝ有樣なり相場は忠清道物普通品百斤七圓三十錢より七圓なり同品上品は從來雜品として取扱はれ統計上別に表はれざりしも近來は輸移出多量に上るに至れり

◎咸興鐵道新停留所設置

咸興炭礦株式會社咸興輕便鐵道にては今回新に咸興西湖津間松湖里に停留場を新設する事に決し既に其筋に認可を申請せしと

◎諸會の日用便覽

仁川觀測所內氣象講話會發行大正五年度日用便覽は例年の通り近く出版頒布の由なるが申込期限は本月二十七日迄なり

南言北語

キッチナー元帥が希臘王に膝詰談判で聯合側に參加を力說するかと思ふと▲伊太利と希臘との間に乘じて妙に睨み合つて居る▲其の間に乘じて獨探はアルバニアやモナスチールで活動しつゝ土勃羅希の四政府と氣脈を通じて居る▲是れではキッチナー元帥の思ふ樣にもなるまい何うも四千萬法は希臘がマンマと頂いた樣な感がする▲ダーダネルス海峽攻擊の責任を負ふて辭職したチャーチル氏は今度愈々ランカスター尙書の椅子をも投げ出して從軍するらしい▲氏は十九歲の時に軍人になつて米西戰爭では玖馬へ、行き印度でも戰爭をやりスーダン遠征にも從軍しナイルでも戰ひ南阿戰でも功名を樹てゝ居る▲氏が從軍記章を持て居る事は英國の如何な將軍でも氏に及ばぬ相である▲其れに飛行免狀迄も持つて居るから今度從軍したら飛行機に乘つて花々しく戰塲に現はるゝのであらう兎に角珍らしい快男子だ▲醉程ではない樣だが支那騷亂は日々に頭を擡げて來つゝある事は事實だ▲其處で支那政府でも大に恐惶して全國を三區に仕切つて防壓しようとして居る▲ソーレ見た事か何と云つても警告は有り難からう其れに非友誼的だなぞゝ惡口吐くと今に帝政處か國內は引つくり返るよ▲陛下でさへ機を覗て居る革命黨の連中が獨逸と云ふ惡まれ者に煽動せられて居るから何んな事を仕出かすかも知れぬ▲袁總統は英、露兩公使にソット會見して帝政に付て意見を聞いて居る▲誰れに聞たつて同じ事だよ此の際例の以夷制夷の手も駄目だ日本をまかうとしたつて其れも駄目▲其の樣な事よりも保安維持が必要だ其れさへ出來れば皇帝にならうが何にならうか誰れも止めはせぬよ

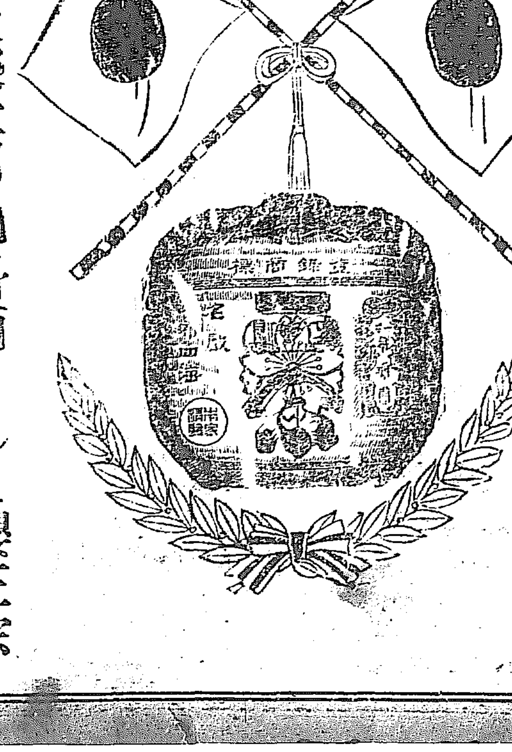
□歸州寺より

一夕庵九分

傾ける護神の將に落葉かな
枯葉散る深山や俗に借し過よ
霆音は聞え去りけり冬の山
山門や底無き谷の秋の色

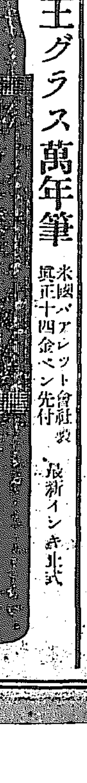
懷昔

寒水や禪窗の窓の雲談し



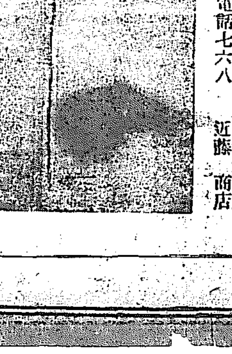
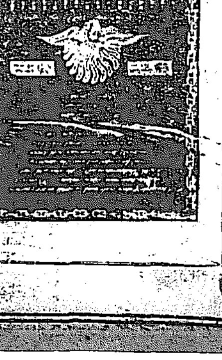
御大禮大饗宴の御料酒として櫻正宗
御用の光榮を拜命す滿天下に於ける
御大典奉祝酒は櫻正宗御使用を乞ふ

大饗宴御料酒
櫻正宗
發賣元 山邑京城支店
京城明治町二丁目
電話 八四九番 一四五四番

目錄送呈

◎完全無比の實用經濟 覇王グラス萬年筆
米國パアレット會社製 最新インキ止式 眞正十四金ペン先付
●諸官衙銀行會社其他團體にて多數御購買の向へは特に割引仕候
●朝鮮總代理店 釘本藤次郎本店
京城本町二丁目(電話四五番) 振替京城二五六番

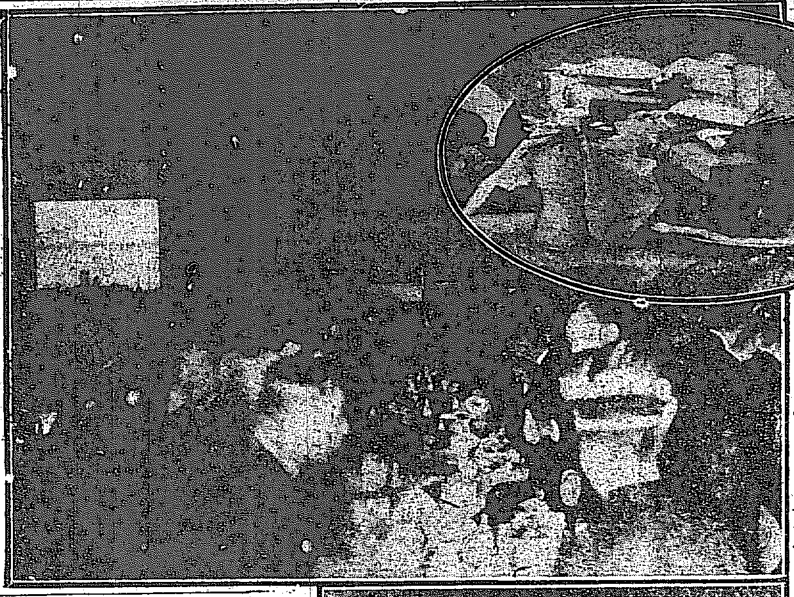
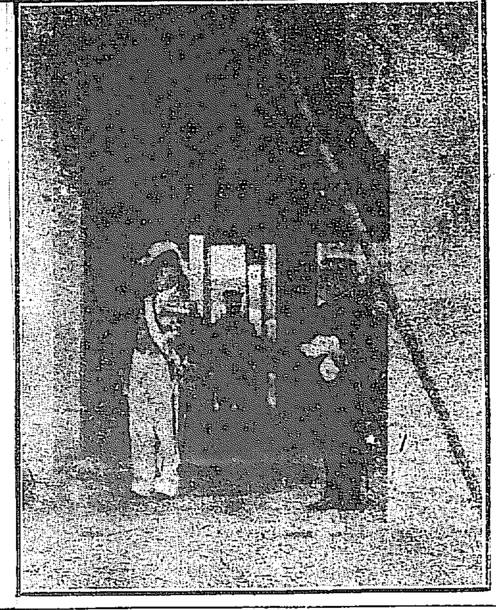
莫大小界の發展

我莫大小界の發展は近來著しく進步し當地にても年々ラキト式舶來品を引き販賣せし所 今回大阪鳳凰印メリヤス製造所にて賣出したるシャツは品質舶來品以上にして實用に適し且進物用として優美なれば大好評を博し賣行盛なり尙鳳凰印シャツは各地にても有名なる商店にも販賣し顧客の便を計り居り候

京城本町三 電話三五〇
同 二 電話六一五
仁川本町四 電話一九一
平壤大和町 電話一一番
釜山本町二 電話八五二
釜山大廳町 電話三四八
釜山大廳町 電話七六八

森久商店
平田商店
鈴木商店
丸京雜貨部
近江屋支店
明治屋支店
近藤商店

勤政殿上の大饗賜饌拜戴式
（上）賜饌（中）式場の全景（下）山縣政務總監正裝して式場に向ふ

◯賜饌の榮に浴せる

文武百官紳士淑女燦として星の如く花の如く勤政殿に聚る

京城に於ける大饗賜饌拜戴の儀は十六日正午より景福宮內勤政殿に於て行はれたり、此日朝來生憎の降雨なりしにも拘らず會場は正門なる光化門を始め舊共進會第一號館內より勤政殿に至る間悉く黑白の鯨幕にて取圍み猶は道の兩側には五色の帛を飜へせる鉾の垣と注連繩を張り繞らし又鳳凰に花環を設らへたるなど最とも神々しく飾られたり、又賜饌場勤政殿には正面目覺むる許りの日の丸國旗を交叉し場の四方には紫の幔幕を張り繞らし中央式壇の左右には第一階より第四階までの位階席順を設けありて純白の卓子掛の上には此の日のありがたき大饗賜饌を置かれたるが軈て正午に至るや第一聲の喇叭と共に諸員入場し先づ親任官、勅任官、有勳者、高等官四等以上、從五位勳四等以上の第一階席著席者を始めとし地方名望家、各面長等の第四階席著席者まで總員一千八百七十二名の人々勤政殿內に充ち滿ち壯觀云ふ可らず猶又何分當日は芽出度き大饗賜饌のことゝて今日を晴れと著飾りたる文武百官の劍光帽影眩ゆき許り殊に朝鮮貴族の金色燦爛たる大禮服に交りて和裝、洋裝、朝鮮服の婦人もあれば紋付袴の女教師もあり、絹帽フロックコートの紳士の隣には衣冠石帶の舊韓國政府制服の文武官もありてさしもに廣き勤政殿の賜饌場も溢るゝ許りの參列者なり、軈て第二の喇叭と共に山縣政務總監は中央の式壇に起ちて難有き大饗賜饌拜戴の辭と並びに御禮執奏の辭を述べ諸員恭やしく賜饌拜戴の式を了れば場の一隅よりは瀏喨たる君ケ代の奏樂起り莊嚴の氣勤政殿に充ち滿ちたり、斯くて吹奏の終るを待ち山縣政務總監は壇上に起ちて天皇陛下の萬歳を奉唱すれば參列の人々之れに唱和し音響白岳を撼かさん許りなり、斯くて當日のありがたき御賜饌の式は了りたるが尚ほ午後二時よりは景福宮內慶會樓に於て大園遊會開催され一同菊花を飾れる食卓にて祝盃を擧げ君ケ代の奏樂に次で天皇陛下の萬々歳を奉唱し尚ほ模擬店の饗應も始まりて午後四時閉會せり

◉雨中のお祝ひ

時雨に映る彩旗 晴を待つ行列連

祝へ唄への十六日は朝來お生憎の時雨が降つて誰れも〳〵空模樣ばかり眺めて居たが其れでも本町通りの賑ひは相變らずの御大典景氣、彩旗、提灯、萬歳旛、國旗、注連繩はお正月のやうに街々を彩色つてゐる、新町の天岩戸は有繋に雪は淋しいけれども午後からはだん〳〵白酒黑酒の連中が浮れ込む、大和町一丁目博多仁輪加連中は朝から神崎氏の家でお神酒をいたゞき祝へ〳〵の大祝宴を開いて居たが何れも雨が晴れ次第繰出しますと大元氣である、京城券番では折からの雨に悄氣かへつて居たが若衆が代り〳〵表に飛び出しては空模樣を眺め『愈々晴れ相だぞ』と呼ぶと一同急に元氣付き辨當が來る酒が來る券番內はごつた返しのさわぎである、行列は先づ神社のお祀めいた屋臺を引き出し總勢百餘名の美人連が何れも紅色の仕丁姿で繰出す他に券番關係者の主人一同も男仕丁で三十餘名繰り出す筈、手に手に萬歳旛をもつて大騷ぎ最中であつた、又市中は各官衙、銀行、學校共十六日一日を休業したとて此等の家庭では朝から盛んなお祝ひが始まつた向きも尠なからず朝は降つても午後からは大丈夫と許り何れも盛んな奉祝をやつてゐた

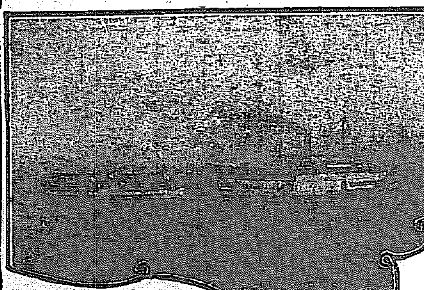
◉列國使節一行を喜ばせた 琵琶湖畔の紅葉狩

詩的ー詩的ーを連呼して措かず

十一日の夜京都大禮奉祝會の招待にて祇園新地の歌舞練場に絢爛な祇園美人の舞踊を見物せる列國使節の一行は何れも美しきチエリーダンスよと稱讃措かざりしが十三日は更に日本特有紅葉狩を琵琶湖畔阪本の日吉神社境內に催せり此の日麗かな好天氣にて早朝より準備に取り懸り午前十時半頃より長樂館の露國大使マレウイツチ氏は接伴員の福井陸軍少佐を同伴し先發せる外伊國大使、佛國大使、英國大使、米國大使外各國公使達は多く夫人並びに接伴員を隨へ大禮使差廻しの自動車にて京津街道を疾驅させ正午前迄に全部阪本に到著、中には大津にて自動車を乘て大湖汽船の

▲上等船白石丸にて到著せるもありかくて一同は大宮橋と中之橋なる丁度稻地藏の橫手なる三橋樓前の床几に休憩せるのち使臣連へ三重の箱に入れたる洋食辨當の配付あり、一同は此處に到著の途中船中にて所謂近江八景の絶景を賞しつゝありしが食後林間を逍遙し社務所前の藤の大木、或は鬱蒼たる常盤木の間に彼方此方より錦を織り出せる光景には詩的詩的を連呼しつゝ

▲情興盡きず 午後二時三十分歸路に就き三時大津著滋賀縣公會堂にて少憩同縣より寫眞帖並びに縣の大勢要覽を贈呈し茶菓の饗應あり三井寺と商品陳列所を見て疏水により便船にて或は自動車又は京津電車にて各旅館に引上げたり（京都特派員報）



外國使節一行琵琶湖畔の紅葉狩（は一行を乘せたる遊覽船白石丸と八景丸）

◉明日は晴天

氣温は下るが雨は十六日中に歇む

晴天ならば前日に優るとも劣らぬ賑ひを見るであらうと期待された十六日の京城市中もあはれ心無き雨の爲め午前十時より蕭々として降り出でた爲め種々の珍趣向を凝らして待ち構へた各町の催しも餘興も出來ぬ事となつて終つた、此の日の雨何時まで續くかと測候所の説を叩けば今晩中には降つて十七日には綺麗に霽れますさうといふ十六日の雨は龍岩浦、中湖津、黃海道地方に淺薄な低氣壓が起つたため降雨があつたのだがそれは十六日中に全部通過して了うので十七日は全く快晴となるのである、隨つて氣温は此の二三日來より降下するけれども左程急激に變化する樣な事はない、初結氷のあつた先月は例年に比して十二三度氣温が低かつたけれども本月に入つてからは例年より却つて温かになつてゐるさうである

◉藝術座 今十六日夜は故郷（マグダ）四幕及び熊一幕にて開演これにて同座を打上げ十八日十九日兩日仁川に乘込みそれより平壤を二日間興行して滿洲に赴く由なり

◯京都の空は晴れたり

盛なる旗行列提灯行列屋臺行列

大饗宴第一なる十六日も京都の空は引續き日本晴れにて市中は樣々の催しあり大賑を極め居れり併し御大典を的に金儲けを企みし者は皆的外れにて失敗し宿屋も御大典參列員の他お客少し是は一般の不景氣なると農民の繁忙期なることに由ると雖も餘り前觸れが旺んなりし爲め入洛者も混雜を厭ひて見合せし向き多く且つ式場拜觀も十二月以後ならでは叶へざれば控へ居れる爲めなるべし何れ今明日中は旺んなる提灯行列旗行列屋臺行列等にて滿都大賑ひなり（十六日京都特派員特電）

◯仁川の火事 …て接續せる兩棟に延燒し三戸三棟を一嘗にし…無慘の燒死したる黑焦の屍體を一…

◉大阪人會 在京大阪人及び大阪に緣故を有する人々よりなる大阪人會…

天氣 曇り但し小雨後晴 十一月十七日（十六日午後六時發表）

物品購買公告

一 石炭 五萬貫（內地塊炭）
一 同 七千貫（撫順塊炭）

此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上

右各別ニ入札ニ附ス供給請負希望者ハ本府庶務係ニ就キ入札心得書契約書案仕樣書見本等熟覽ノ上十一月十九日午前十一時限リ本府庶務係ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當ス

大正四年十一月十三日 京城府

謹啓 京城在店中は不一方御愛顧を蒙り且又今回大阪支店に歸任の際は御叮嚀なる送別の宴を賜はり尚御多忙中にも不拘御見送り被下御鳴謝に候就ては拜趨御禮可申上筈の處要用の爲取急ぎ出發仕候間甚だ乍略儀紙上を以て御挨拶申述候

大正四年十一月十五日

土佐紙株式會社大阪支店 支店長 中內松次

廣告

本病院長醫學博士李慰滿 W. T. Reid m.D. 儀兼て歸國休養中約一ケ年振に歸院致し候に付ては今後尚一層業務擴張を計る爲め從來の普通診察所以外特別診察所を增設し茲に晝夜に不拘左の時間に依り熱誠を以て診察に應ず可候

院長診察時間（但日曜土曜を除く）
（自午後二時至同四時）於普通診察所
（自同四時至同五時）於特別診察所
右時間以外は朝鮮醫師に於て擔當す

開城滿月町 南星病院

かぜ ねつ 最良藥 にせ物あり 蛇印 アンチピリン丸
商標に注意 三大特長 一藥の配伍 二副作用なし 三胃中に溶易し
■かぜ ■ねつ ■流行性感冒 ■おこり ■頭痛 ■麻疹
定價 十錢、十五錢、廿五錢 家庭用入五十錢
本舗 東京 大阪 丹平商會 賣捌は全國各藥店

月桂冠 電九九八番

食料品雜貨
食料品 果物 青物 海産物
問屋 岩城馨商店 京城旭町一丁目（電話八四二番）振替口座京城一〇〇番
果實青物 南大門市場卸部

品質卓絶 醇良 清酒 金露 登錄商標 醇良清酒 吟釀
攝津灘魚崎 釀造元 大塚合名會社釀
各地到所の信用ある食料品店に販賣せり 金露印と御指定御買上被下度候
京城南大門通二丁目 發賣元 大塚京城支店

徽章製造
徽章の需要著しく激增せり是れ流行品にあらずして現代に於ける必需品なればなり
美術的意匠に成れる徽章
横濱市本町三丁目 鴻池徽章社 電話千〇三十九番

別染 印入手拭
御照會次第手拭の栞贈呈
大阪市東區南久太郎町四丁目 上村商店 振替口座東京一〇〇五六番

金庫 東京竹內製 ベンテング式
詳細目錄送呈
京城本町二丁目 熊平支店

泰三殿 片付た居所通知あれ 尾羽吟

會員募集 第拾壹回 新學期 十一月一日 大特典 入學金免除 會費低減
日本藥學講義錄
講義完成 本邦藥學講義錄中最も成績甚良而信用最厚
藥劑師志望者にして通學の機會を得ざる者は來れ獨り本講習錄に依り始めて其目的を達し得べし
日本藥學講習會

私事今回神洋行京城支店主任として在勤中は一方ならざる御愛顧を蒙り千萬辱く奉存候今回合意の上同洋行を辭し左記の處にて從來の店舗に金物部を併置し和田欣次と共同營業致候間何卒倍舊の御同情を以て御引立の程偏に奉希上候 敬具
大正四年十一月十日
營業所 京城鐘路通二丁目（電話二六三一番）
馬毛 牛毛 フエルト 金物商 和田商會 山口宇一

（夕刊）大正四年十一月十七日（水曜日）　京城日報　（明治四十一年九月十八日第三種郵便物認可）　第二千九百四十五號（三）

◎忙がしい人閑な人
入洛せる大官の廿四時間

同じ京都へ來て居る大官連の中でも眼の廻るほど忙がしい人と閑で退屈で困つて居る人がある。大隈首相は朝五時に起きると近ころ

▲新案柔軟體操 を小半時もやつて運動する東京に居る時は庭内を散歩する習慣だが首相の宿の八木邸の庭には不地が澤山あつて躓くと危險いと言ふので廊下を歩きながら例の生杖君に腕の下を支へさせ乍ら

オイチニ〱と手を上下して運動する事を發明した、六時半に食事を取つて八時までは約束順で訪問者に逢ふが八時から午後四時までは公用の外には誰にも面會せぬ、大臣から内閣の人々を毎日三四十人宛は接見して其の間に各省から廻つて來る澤山の書類を見るし午後か午前には

▲天機の奉伺 一度づゝ出かけ新聞も一通りは缺かさず目を通す式のある日なぞは夜遲くまで書類を見るやうな忙しさだから加藤男島田議長が來ても逢はずに玄關から歸つて仕舞ふ公開の席へも今日まで皆な斷はつて出ない、然し十五日から以後は何處へでも出て大に一流の長廣舌を聞かせてやると言つて居る、波多野宮相も忙がしい一人で六時に朝食を取り食後二時間に必ず十人以上の來客がある、沐浴をして御所に上つて天機を奉伺して官房で事務を執るが毎日いろ〱な儀式があるので二度も三度も

▲衣冠に著け替 をする宿に歸るのは通例五時頃で一合ほどの晩酌を傾けるが石原次官や市來、大木、吉田などの宮内官が同宿なので何だ彼だと夜遲くまで打ち合せをするし時に依ると夜の十一時頃まで御所から下らぬ事もある、宮相は毎年秋冬の候にはキッと風邪を引くが今年は忙しくて風引く閑も無いと言つて居る、松吉旅館にある鷹司公も侍從長で大禮使長官といふ大役だけに忙がしさは人一倍であるが大概は七時に出仕して五時に歸るまで宮中の御用が忙がしいだけで

▲個人的の訪客 が殆んどない爲め夜は悠々と讀書に耽つて居る一番閑で忙がしいのは戸田式部長官で大小如何なる御式にも參列せねばならぬし使節や大臣や其他宮中の儀式に慣れぬ人々の面倒は見ねばならず玆半月ばかり十二時前に寢た事はなく時には徹宵で何彼と鞅掌して居る、閑な方では十日の式が終り支那問題も一段落を告げた昨今の各大臣連で加藤海相は十三日の早朝自動車で副官を伴れて瀟洒たる背廣姿で

▲祇園新地見物 に出かけ「一力」に上つて大石良雄の遺物や部屋を眺め夫れから若王寺、銀閣寺、清水堂と日の暮れるまで東山名所の見物をした、尾崎法相も早朝テオドラ夫人を伴れて遠く比叡山まで散歩に出かけた、箕浦遞相は午前十時頃訪問した島田議長を引捉へて終日閑寂な氣分で烏鷺を闘はして居た（十三日午後京都特派員）

十五日夜學生團の奉祝大提灯行列

◎結氷期近づく
國境の貿易狀況

▲輸入品の激增 慶源地方に於ける十月中の貿易狀況を聞くに輸出品は皆無なるも輸入品の重なるものは鮮魚、小麥粉、砂糖、支那燒酎、大豆、豆油其他にして其輸入額は五百六十五圓、前月に比し三百四十七圓の增加を示せり、之れが原因は生島及び獵銃の輸入增加の結果にして支那陣春より仕入れ大部分同地方に於て消費せり、生島の輸入增加したるは作物收納期に當り其の必要を來せるにあり又獵銃の輸入增加せるは獵期に入りたるに因る對岸支那琿春市場にては日貨排斥の事實無く從て同地方には何等の影響を及ぼさず

▲帆船往復杜絶 土里地方は十月下旬以來天候回復したるも追々結氷期も近づきたる事とて海上常に穩かならず、之れが爲め淸津方面との帆船の往來意の如くならず、從來往復に五日乃至八日間を要したるも昨今は三週間を要する有樣にて貨物の搬出入に多大の影響を及ぼすに至れり、之れに反し琿春方面との水路交通には何等故障なく却て前月以上の往復頻繁を極めつゝあり、十月中土里地方を通過歸來したる出稼鮮人多數あり、之等は多く露領秋豊地方に於て農業に雇はれ歸途浦鹽より帆船にて豆滿江に上陸したるものなり何分冬期近づき寒氣加はると共に海上風波絶えざる爲め本春以來成盛を極めたる淸津行き木材も十月中は僅かに四十萬九千八百餘才價格九千九百六十餘圓に止まりしが帆船の往復十一月上旬を以て杜絶するに至れり

▲運搬機關缺乏 惠山鎭地方に於ける十月中の輸出貿易額は三百三十八圓餘にして之れを前月に比し二百十圓七十錢の增加を示せり、是れ寒氣に向ふと共に綿布類の輸出激增したるに由るものにして其の輸出品としては生天竺、精米、生豚、食鹽、晒金巾等重なるものなり、又同月中の輸入貿易額は三千百九十圓餘にして之れを前月に比すれば二千百五十三圓の增加を示せり、是れ同月は人蔘の輸入增加せるにあるも平年作に比すれば對岸地方に馬賊出沒する爲め輸入尠し、該品の輸入者は主に對岸居住の鮮人及び支那人多くして鮮内地より該地に至り購買輸入するもの殆んど無し、惠山鎭地方の輸出入は運搬機關無き爲め馱馬に依る外無く對岸奥地よりの輸入等は道路險惡の爲め人背に依るもの多し

▲露貨相場低落 古邑に於ける十月中の輸出額は百十四圓にして前月に比し八十五圓餘增加を示し輸入額は千四百十三圓餘にして前月に比し百三十七圓餘の增加を來せり、之れ昨年九月大洪水の際管内に漂著せる木材の處分終了し其價格千三百餘圓に上りたるに起因せり十月中古邑渡船場を通過せる旅客は露領出稼歸來者三十九名其他の入國者百一名出國者九十八名にして之等は悉く徒歩旅行者とす同地を中心とせる彼我沿岸通路は過般の洪水の爲め一時交通至難に陷りしも十月に入り漸次恢復し昨今牛馬車の交通差支無し尙同地に於ける露貨相場は邦貨一圓に對し六十一錢に低落し依然金融不振の狀態にあり

◎縣人會大兎狩◎

◎來る二十一日（日曜日）午前三時半獨立門に勢揃出發午後歸途弘濟院佐々氏農場東肥園に於て矢開の事
◎當日辨食は各自携帶の事
◎會費金三十錢（學生半額）持參の事
◎加入申込は來る十八日迄に大和町三丁目小川靖雄方電話一八一一番

熊本縣人會幹事

◎釜山賜饌拜戴式

釜山に於ける賜饌拜戴式は午前十時より釜山第一尋常小學校講堂に於て擧行釜山、東萊、密陽、金海、梁山等山の各府郡在住文武官有資格者三百四十六名（内出席者三百名）參列し上席者伊藤軍醫監賜饌拜戴並に御敕語奉讀の辭を述べ賜饌を拜戴し同氏の發聲にて　陛下の萬歲を三唱して式を終りたり（釜山特電）

◎釜山の奉祝宴

若松釜山府尹は午後一時より龍頭山上に府内の主なる官民四百六十名を招待し奉祝宴を開き府尹の祝辭及び發聲にて萬歲三唱宴會並に模擬店等開かれ盛會を極む（釜山特電）

◎連絡船上陸客

十五日午前釜山入港高麗丸一二三等客（一等二名）野口尊一、米人一名（二等十九名）廣池貞四郎、福原米太郎、菊池敏夫、兒島數馬、砂川殺、同康子、村井伴三郎、今西さき、越出常太郎（三等百三十九名）十五日午後釜山入港弘濟丸一二三等客（一等一名）大角龍吾（二等八名）江木貫一郎、井上國巖、三ケ尻忠吉、森永國吉、須田壽雄、國野藤太郎、國川虎三、同巳之助、國藤太郎（三等五十六名）

花王石鹼は
優に世界的なり

品質本位花王石鹼の品質に就ては既に業に現代諸博士大家の嚴密なる實驗を經て、帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院其他の御採用を蒙ると いふ確實なる保證がありますが、其の價格が舶來品のタツタ十分一位に止まるといふ譯は、左の五に基因するものです。

一、香料は内國產を用ひ裝飾に贅費を掛ぬこと
一、我が國一般の生產費が外國より廉いこと
一、特に舶來品に比し關税及び運賃を要せぬこと
一、產額が多い爲め原料を一時に多く仕入れるので原價が廉くなること
一、副業として石鹼の廢液より多量のグリセリンを採取して販賣する爲め從て石鹼の價格を輕減すると

尤もグリセリンは我が軍隊用にも供せらるゝ貴重品なるが產額少量なる工場に於ては此の副業は經濟上不可能のことです

之を以て世界的廉價の良品となり產額が增大すればする程生產費に餘裕を生じ、原料の精選と品質の改善に努力して逐次循環的の進步を見るのですから花王石鹼の御使用は畢竟需用者の利益なることを御承知の上多々益々御愛用あらんことを懇望致します。

花王石鹼製造元　東京馬喰町　長瀬商會
關西代理店　大阪安土町　大崎組商會

……したるより常備消防隊及び仁川警察署より時を移さず警官出向し鎭火に努めたるも同分家並接近し居るをと……
……たらんが同人は泥醉横臥しゐたりし爲め逃路を失ひたるものゝ如く燒け……

昨年との比較は左の如し

……十五日正午京……挨拶及び新舊會長の交迭報告あり其より宴に入り頗る盛會裡に十時半目出度解散したり
……係役員出席し茶菓の饗應をなしたり

越後大評定

第四十六席 早川貞水口演

忠直の不滿

忠『ム、左樣か、是は何處ぢや 丹『是は常陸水戸公で御坐います 忠『是は 丹『是は紀州名草郡虎伏山竹垣の城と申し、紀州池田家の築城で御坐います 忠『ム、なか〱立派ぢや 此城は 丹『是は江戸城で 忠『江戸城の要害は如何ぢや 丹『先づ大手は函根、搦手は碓氷峠、後に駿甲上信の連山を控へ、前に房總の海あり、相州走水にて、上總富津の鼻を堅める時は、海陸兩樣堅固、加ふるに關八州の内に鎭撫九ケ城と名付け、御譜代の大名これに籠り、親城を守護し關八州より積立てる兵糧は、利根、隅田の大河の便あり、飲用水に乏しからず、斯かる名城は先づ日本廣しと雖も、いつかな之に及ぶ城は御坐るまい 忠『フゥーム、良い城ぢやな 丹『先日本の總軍が取詰めましても、利根の抛現堂猿ケ股を切拂ひます時は忽ちの間に江戸市中大海の如くなりて、敵を水攻めにすると雖も、城中の者聊か仔細ないと云ふ御繩張、實に天下の名城で御坐る 忠『フムー、ム、なか〱立派なものぢや、先刻尋ねた此尾張の城は是は 忠『是は五重の天守に金の鯱鉾を上げて居ります 忠『フームム、尾張と當家とどの位格が違ふ 丹『ハッ 忠『如何ぢや 丹『ハア 忠『當家は如何ぢや 丹『ハイ御當家は御總領第一の御家で御坐います 忠『總領の父君御住居の福井城に五重の天守が無て、舎弟の而も尾張家に五重の天守があるとは不思議な事ぢや 丹『ハッ』鈴木丹後守少しく蒼くなつて控へて居る 忠『此城は何處ぢや 丹『先程も申上げました通り、大阪城に御坐います 忠『ム、大阪城は天下の名城と申したな 丹『左樣に御坐います、難攻不落の名城にして、金龍の城と申し、其初め、石山本願寺蓮如上人が、或る時靈夢により此處に一の寺を御建立になりましたが、顯如上人の御代、織田信長公が城地に御所望に及ばれました、然るに門徒の下妻法橋と申す者その他門徒の者、信長公の命令に從はず、之に依つて合戰、御承知の通り四十餘度戰ひました、失禮ながら私の祖先日向守本願寺に在つて軍師を勤めましたので御坐る 忠『ム、其方の父か、祖父か 丹『恐れながら祖父に御坐います、忠『ア左樣か 丹『其より後ち本願寺は京都に御移し遊ばし、終に之に御城を築くことになりましたが、其佛罰を以て、信長公に於きましては、京都本能寺に於て、明智日向守光秀のため、御討たれ遊ばしまして御坐る、それが爲め太閤殿下は却て本願寺を重く御用ゐ遊ばし、終に京都に立派に御建立相成り、此大阪をば太閤殿下我物として繩張に相成りたるものにて是れ一ケ城にて、先づ西國三十三ケ國の大名を押へることの出來る大した要害、大内を守護し奉る難攻不落の名城に御坐います 忠『ナニ、難攻不落の大阪城、コリヤ難攻不落の城とは、攻め難く落城せぬと云ふのである、其難攻不落が何日落城いたした 丹『ハアー 忠『サア其方も軍師丹後守、心得て居らう 丹『ハ、ハッ』

泌尿器病 入院隨意（診療夜九時迄）
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痳瘡 皮膚病
專門
永樂町二丁目 金光敎會隣り
安部醫院 電話四一九番

十一月十八日九星 酉 十月十二日 癸丑 本命二黑坤 滿 先負

▲一白 … ▲二黑 … ▲三碧 … ▲四綠 … ▲五黃 … ▲六白 … ▲七赤 … ▲八白 … ▲九紫 …

▲英語界の三大雜誌 『ABC』『中等英語』『英語研究』は既に發行され市内各書店頭に陳列され居るが例により記事は懇切叮嚀を極め又本號には御大禮に關する記事もあり名士の寄稿も多し發行所は東京麹町區富士見町英語研究社

◎コドモ社の大擴張 幼稚なる子供の繪入雜誌中最も斬新且教育的價値あるコドモの雜誌は今回社運の隆盛に伴ひ愈々擴張し讀者の好評を博するならん

◎即位式最新記念品頒布 東京麹町平川町二の八御即位大禮奉祝會にては天皇陛下皇太子殿下御衣冠束帶の御眞影及び御即位式を行はせ給ふ御眞影を拜寫し之を掛軸額面の二種に調製し實費を以て一般希望者に頒布するため全國各地に支部を設置する由なれば希望者は同會へ申込むべし

▲廣告▼
月やく
月やくさまり他の藥を用ひ効なく御心配の方 東京で一番信用ある私方へ三錢切手添申込あれ害なく不思議に下る妙藥を知らせす
東京市四谷信濃町停留場前 森田屋

進歩せる國民には進歩せる藥劑を要す
是が理想的なるは大學目藥也

演藝案內

壽館 電話一〇五〇番 本町

御成座 電話二九一番 成町 小島康之助

大正館 電話八七三番 櫻井町

浪花館 電話二六〇番 明治町 今晩（十六日）虎丸の識物 前席（新小說）潮 中席 義士傳の內大石瀨左衞門 後席 四ッ谷怪談

黃金館 電話二六三七番 黃金町四丁目

龍光館 電話（龍山）四〇番 龍山停車場前 十一月十二日より萬世不朽の御大典御即位式の實況 第四報到着仕候

壽座 電話五七八番 本町

あの美しい舞姫の樣に
百人首の歌にある通り
眞の美人の氣高さは
色白くなる
肌荒を防ぐ
垢ヌケのする
美顏化粧料
ホーカー液の
愛用者に限られます
嬉しい御大典當日の曠の衣裳に
ホーカー液の氣高い化粧をなすつて下さい
天つ風雲の通ひ路吹とぢよ
乙女の姿しばしとゞめん
本舗 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著

再版

改訂 朝鮮不動産登記
增補 朝鮮商業登記
申請書式並心得

▲紙數四百八十頁。代價金壹圓。郵稅金拾錢

本書中不動産登記の部には土地調査に關聯せるもの及不動産登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑託書式等併て百貳拾餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、改印屆、土地變更事項に關する證明申請（京城府所定）委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を掲て加之官通牒、登記に關する決議、實例等苟も申請人の參考こ爲るべきものは擧て各書式の末尾に之を掲記し以て疑默を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得へき程度に之を編纂せり土地所有者、不動産上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

酒煙草きらひになる藥
嫌ひになる酒煙草のみでも害なく心から 禁酒丸 禁煙液
大澤博士の郵券二錢送れば說明書及其他名士の禁酒論進呈
本部 大阪市南通二 森田商店

小兒科 外科 皮膚科 內科
梅毒、淋疾 痔、肛門病 耳鼻咽喉科
島崎病院

目ぐすりの中の目ぐすり
登錄商標 岸田 精錡水

皮徽科
皮膚病 徽毒 痳病 膀胱 生殖器 機能障得
入院隨意（診察夜九時迄） 日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元町通）
佐藤醫院 電話一七一三番

大阪唐物町四丁目阪田商店

大阪商船仁川出帆

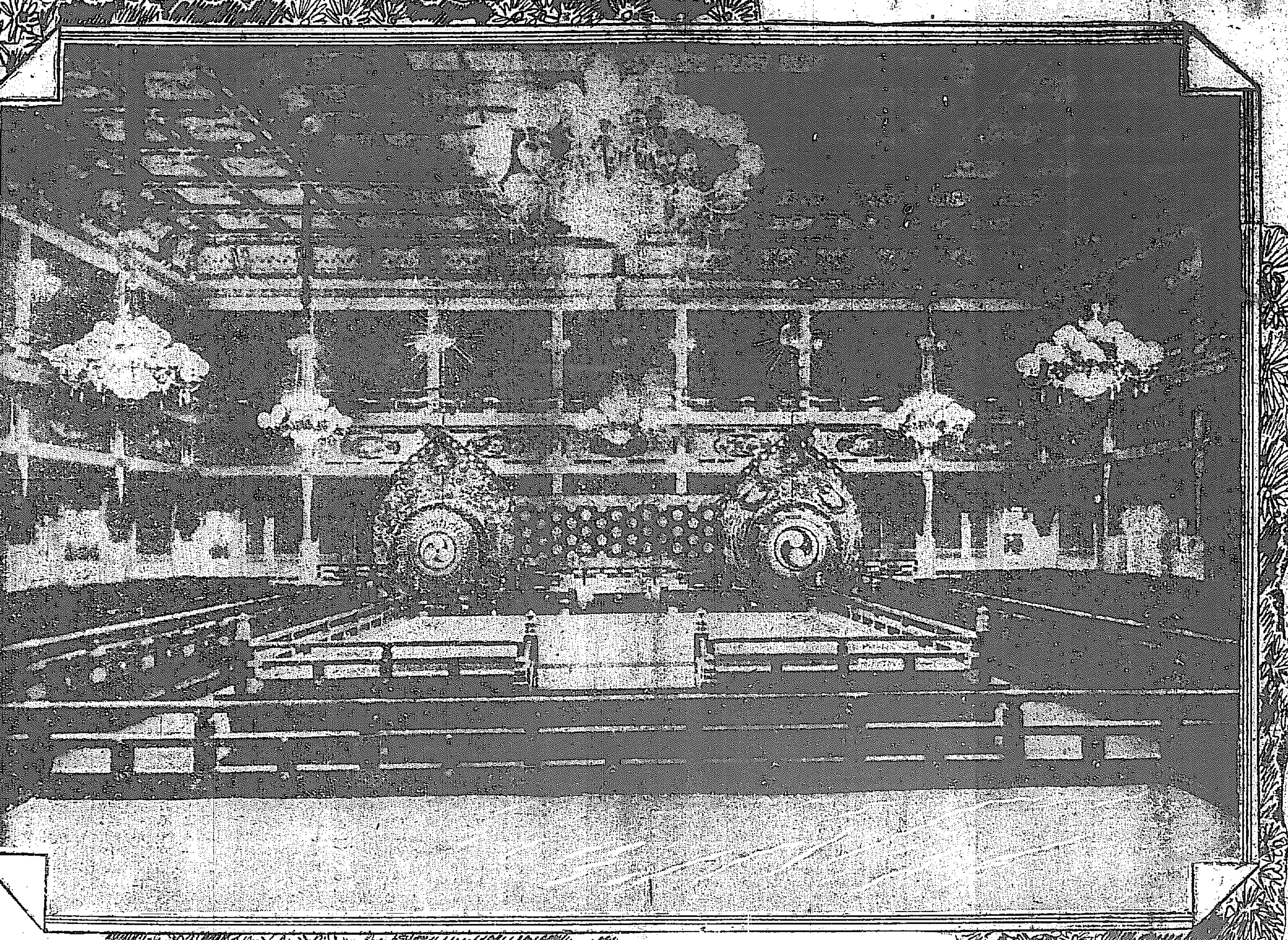
尼崎汽船仁川出帆

共同汽船仁川出帆

汽船釜山出帆廣告

日本郵船仁川出帆

朝鮮郵船



本日の寫眞　大饗宴舞樂殿內部

京城日報
十七日朝刊
(第二千九百四十五號)

◎大饗宴第一日

十六日午前十時五十分京都皇后宮御出門鹵簿粛々と御順路を二條離宮に成らせられ大饗宴場參列者一同に對し饗宴を賜ひたり此日朝來一天雲なく日本晴れの好天氣にて御道筋には鹵簿拜觀の老幼夥しく聖上の御機嫌いや麗はしく拜し奉れり

▲聖上行幸

此日離宮をめぐる御濠の水の色も一しほ清らかに、刻前既に文武百官の馳せ參ずるもの引きも切らず、まづ東大手門よりあるは南大手門より參集し自動車、馬車、人力車にて離宮の馬場は暫し絡繹たり、斯くて東大手門より入りたる大勳位以下勅任一等の諸員は第二車寄より參入南大手門より入りたる高等官一等以下の諸員は第一車寄より參入し大禮使高等官は參列諸員を殿上の廂または諸御殿に案內せり　聖上陛下には連日の御儀式に些の御疲勞の色だになく豫て仰せ出されたる如く皇宮より二條離宮に行幸ましますぞ時に十時五十分、藤原、松原兩警部騎馬にて前驅を承はり警視以下警部二名馬首を南すれば近衞騎兵之に續き戸田式部長官波多野宮相等馬車にて之れに次ぎ

天皇旗燦として金風に飜れば近衞兵、近衞將校之に隨ひ　聖上陛下には大元帥の御正裝にて御馬車に召され鷹司侍從長御陪乘申上ぐ、近衞將校、侍從武官、藤波主馬頭等何れも騎馬にて進み大禮使總裁伏見大將宮殿下、閑院大將宮殿下、伏見少將宮殿下には御馬車にて供奉せられ內山侍從武官長、宮內書記官等馬車にて扈從鹵簿粛々と東大手門より二條離宮の御車寄に著御　陛下には白書院に皇族方は黒書院に入らせらる

▲勅語を賜ふ

準備整ふや大禮使高等官の案內にて各皇族殿下以下參列諸員左右に分れて本位に著けり、此時警蹕の聲ありて　聖上陛下には金光眩ゆき御正裝にて戸田式部長官波多野宮相等前行し玉歩輕かに白書院を出御あらせられ侍從劍璽を捧持し鷹司侍從長、內山侍從武官長、侍從武官供奉し　陛下は南面の玉座に著かせ給ふ、供奉の諸員各々本位に著くや　陛下御起立玉音朗かに勅語(本日二面奉掲)を賜ひ大隈首相及び首席特派使節露國特派大使マレウイッチ氏恭しく御前に奉對す(奉對文二面掲載)了て悠紀主基齋田の新穀にて謹製したる白酒黒酒を侍從奉仕して　天皇に奉り諸員之を拜戴す次で戸田式部長官は悠紀主基兩地方の献納物の色目の目録を恭々しく奏し其の献上物を內舍人に南榮に排列し奉れば侍從再び奉仕して　陛下に御膳並に御酒を献供し奉り諸員にも御膳並に御酒を賜ふ、此時和琴、龍笛、篳篥の奏樂の音ゆるやかに豊樂殿の彼方より起るよと拜すれば御殿の四方に垂れたる美くしき幕は卷きあげられ豊樂殿上には赤袍に黄金造りの劍を佩び靴を穿ちし四人の舞人頭は礼冠に和して劍を拔き久米舞を奏し奉れり

▲五節舞

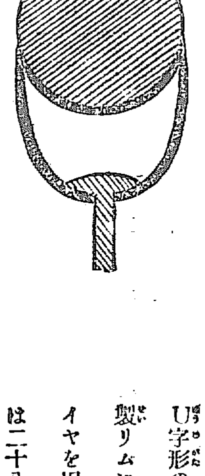
陛下には龍顔晴やかに御覽せられ最と御滿足に渡らせられたるが此の舞の訖る頃侍從は三度び奉仕して御膳に御殽物を加へ奉り諸員にも賜はる斯くて又奏樂の音ゆるやかに流れ田植歌の節古雅優美なる風俗舞を奏し奉る、之を訖れば次は大饗の花たる艶麗無比の五節舞あり、五人の舞姫は髮を御所風の垂髮に結び花々しき十二單衣に金泥の極彩色せる雲模様の檜扇を手にし和琴、笙、篳篥の奏樂の音につれて豊樂殿に顯はれ出で天女の如く高雅典麗に舞ひ始む　陛下には御機嫌殊の外麗はしく參列の大官も只其の華やかさ優美さに恍惚たるのみなり斯くて五節舞の終りを告ぐれば侍從奉仕して　陛下に悠紀主基兩地方の名所を盤上に配置したる洲濱臺に左近の櫻、右近の橘を合したる銀製の精巧極りなき御插花を進め奉り參列の諸員にも賜ふ軈て警蹕の聲静かに戸田式部長官波多野宮相前行し奉り　陛下には白書院に入御間もなく御鹵簿を整へさせられ御順路を皇宮に還幸あらせられ御參列の各皇族方以下各大臣も夫々退下せり(京都特電)

●[illegible]の活動

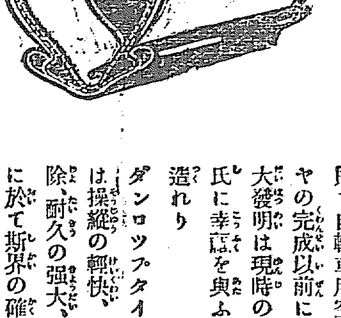
[illegible]は實に百五十六留と空前の安値を[illegible]共後月末頃より漸騰し一時百[illegible]

[illegible]に其行動の情勢を偵知する能はざる[illegible]掌には赤き記號を現はし右掌には新[illegible]漢朝の統治者てふ記章を止むと(上海)[illegible]チャン號の如きは船首兩側に赤、白[illegible]と大書しあること[illegible]盜の同國旗を懸し[illegible]國船たることを[illegible]如し又或る外國船の如きは國旗の周[illegible]

ダンロップの偉業



U字形の鋼鐵製リムに丸タイヤを用ひしは二十八年前



ダンロップタイヤ

則ち自轉車用空氣入タイヤの完成以前にして此の大發明は現時の愛輪家諸氏に幸福を與ふる基礎を造れり

ダンロップタイヤの効果は操縦の輕快、損障の減除、耐久の強大、この諸點に於て斯界の確認を得たり

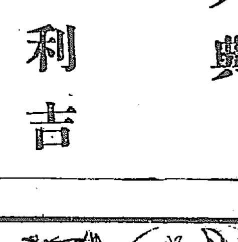
空氣入タイヤ製造の創始者　ダンロップ護謨(極東)株式會社　神戸　東京

自働車用タイヤノ眞價ハダンロップタイヤニ依リテ顯ハル

DUNLOP TYRES

奉祝ノ大典
仁川　慶田利吉

米國ビクター、トラップ會社製
獸類捕獲器
壹個　壹圓五十錢
狐、狸、ヌクテ取器械



仁川濱町　苗木草花販賣所
京日仁川代理部

大饗宴勅語

朕大禮ノ典儀ヲ擧行シ茲ニ饗宴ヲ開キ各國代表者並ニ諸大臣等ト歡ヲ共ニスルコトヲ得ルハ朕ノ甚タ喜悅スル所ナリ爰ニ友邦ノ君主及ヒ大統領ノ健康ヲ祝シ併セテ交際ノ倍々深厚ナラムコトヲ望ム

總理大臣奉對

大隈總理大臣は群臣を代表し左の奉對文を奏す

大禮ノ盛儀ヲ擧行セラル、ニ當リ群臣ヲ召シテ大饗ノ御宴ヲ開カセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ天恩限リ無シ臣等感激ノ至リニ勝ヘス臣重信群臣ニ代リ恭シク寵眷ノ厚キヲ拜謝シ敬ミテ寶祚ノ無窮ヲ祝シ聖壽ノ無疆ヲ禱リ奉ル

露國大使奉對

露國特派大使マレウイッチ氏は外國交際官首席者として奉對せり

外臣ハ茲ニ列席セル外國代表者ノ名ニ於テ外交團ニ賜ハリタル優渥ナル勅語ニ對シ甚深ナル感謝ヲ奉呈スルノ光榮ヲ有ス惟フニ帝國友邦ノ君主及ヒ元首ニ於テ該勅語ニ對シ深ク滿足セラルヘキハ疑ヲ容レサル所ナリ　陛下カ皇祚ヲ踐マセラル、カタメ大典ヲ擧行セラル、ニ當リ外交團ハ謹ミテ茲ニ祝辭ヲ陳奏シ併セテ衷心ヨリ陛下　皇后陛下　親王　內親王　王　女王各殿下ノ福祉健康ヲ禱ル

外交團ハ帝國ノ利益帝國民ノ幸福並ニ帝國ト爰ニ代表セラル、各國トノ間ニ存スル親好ノ爲メ陛下(此間數字電文不明)永ク隆盛ナラムコトヲ切ニ希フ

(十六日午後三時特派員京都發電)

◎東京府の大饗賜饌 (特電東京)

東京府下に於ける大饗第一日の儀に賜饌の榮に浴すべき有爵者有位有勳者高等官町村長三千餘名は十一時三十分府廳に參集し十二時の第一振鈴にて廳舍裏に新設六百餘坪の天幕張り賜饌場に入り知事代理岡田內務部長起つて御賜饌の挨拶を述べ次いで當日の上席者の發聲にて　聖上陛下の萬歲を三唱して散解せり尙當日の獻立は京都豊樂殿に於て賜る賜饌のものに準據し調製したるなりと

◎宮內官に賜饌

十六日は大饗第一日當日に付宮內省及び青山御所東宮御所皇子御殿各宮家等に在勤の高等官同待遇は宮中南溜の間に於て何れも饗饌を賜ひ上席者賜饌拜戴並に御禮執奏の詞を述べたる後上席者　天皇陛下の萬歲を三唱し一同之に和し退散せり(東京電報)

◎陸海軍人賜饌

十六日は大饗第一日の儀に付當日在京海軍高等官及び准士官は正午十二時より水交社に於て又在京近衛將校同相當官及び准士官は九段偕行社に於て其の他の將校は陸軍省に於て孰れも饗饌を賜ひ各上級將校の發聲にて　天皇陛下の萬歲を三唱し隨時退散せり(東京特電)

◎首相脚部疼痛

大隈首相は義足の接脚部に擦過症を負ひ疼痛を感じて困難しをれるより十六日の饗宴には局部に麻睡劑を塗抹して一時の苦痛を免れ參列したり十九日朝歸東す(京都特電)

東京發別電

▲露補助貨鑄造引受　大藏省は露國政府の[illegible]に依り露國補助貨幣一千五百萬留の鑄造を引受くるに決したり之れが鑄造は極めて大急を要するを以て來る十二月より著手す可しと

▲大隈首相曰く　大隈首相語つて曰く予が高遠なる理想を行ふは今よりなり　陛下の御信任ある限りは斷じて桂冠せず

▲印度動搖無し　カルカッタ總領事曰く印度は目下何等の動搖を見ざるも叛亂の兆ありとの風說ありしは事實なりし

▲新格付米申請　米新格付は去る十一日申請せり鮮米は未定格米とし宮城米を以て同標準米とせり

▲獨逸の教唆明白　北京來電に據れば支那帝政速行に關し某國の裏面に在りて窃かに術數を廻らしつゝありとは推測に難からざりしが果然昨今に至り獨逸の教唆せし事明白となれり

雜報

◎本年の葉煙草　品質は不良　收量は增加

▲忠州黃色煙草　過般葉煙草耕作狀況視察の爲め南鮮地方に出張せる岡田技師の歸來談に曰はく忠州方面は既に煙草の乾燥を了し目下耕作者は各組合の倉庫に收納する傍ら再乾燥格詰の作業を行ひ居れり同地に於ける本年の黃色煙草耕作反別は二百七十町歩にして收穫量目約八萬貫の見込なり、本年は例年に比し若干の增收なるも品質に於て聊か劣等の傾向を免れず、這は全く天候に起因するものにして八月中旬以降の多雨は煙草の生育を急激ならしめ、此狀態は乾燥期まで持續したるより遂に此現象を來せるは遺憾の至りなるが不可抗力とて是非なき次第なり

▲大邱の內地種　大邱方面に於ける內地種の耕作反別は六百町內外にして收量約十八萬貫の見込なれる而已ならず立枯病の被害亦鮮少ならざりしより一時非常の恐慌を來したるが幸にして九月上旬より多量の降雨ありし爲め漸次生育を恢復し今日に於ては平年作には達し得ざるも甚しき減收ならざるを得たりまた品質に關しては未だ詳細の事情判明せざれど二三の耕作者に就き其の實地調査せし所に依れば本年の如き天候不良の生產品としては先づ相當の成績を擧げたりと認めらる、殊に同地方に於ける內地種葉煙草の缺點たる燻蒸の度強烈なりし點は著しく改良せられ其度合大に綏漫の傾向を來せるは本種の用途上喜ぶ可き現象と謂ふ可し

▲混種改良の急　之れに反し同地方の內地種が近來種類混淆の爲め著しく變形の傾向を生じ來れるは遺憾に堪へざる所なり、種類の混淆は製造家に於て薬組を行ふに常に非常の不便を免れざるのみならず將來其販路を朝鮮以外に求むる上に於て幾多の不利を蒙らざる可らざるを以て當業者は須らく此處に留意し採種は必ず固有の形體を備ふる母木より、之れと同時に耕作地には出來得る限り異種混作を防がざる可からず

▲白バーレー種　全州及び新義州方面に於けるホワイト、バーレー種は本年始めて試作に著手せるものにして耕作反別僅々一町六反歩に過ぎず、此成績は生產品全部を調査するに非ざれば充分に判明せざるも其收量は一反歩優に四千貫以上に達し葉形亦頗る大なるを以て此等の點より案ずるに同種は朝鮮に於て最も好適の葉煙草なりと思惟せらる、只本年は前述の如く例年に比し多雨なりし爲め本種に在りても亦葉肉意の如く厚からざりしは殘念なりしも斯く多濕の年は稀有の事なるを以て平年に在りては必ず理想的の生產品を得可きを信ず、要するに本年の葉煙草は全鮮を通じ例年に比せば品質に於ては若干の遜色を免れざるも收量に於ては相當增加の見込にして朝鮮種の如きは品質却つて良好の地方あり增收額は先づ二割內外ならむと信せらる

◎悠紀主基兩地方知事の謹話

兩地方無上の光榮＝農村に及ぼす精神的好影響

悠紀地方の長官にして大嘗宮の祭儀に參殿したる松井愛知縣知事は謹んで語つて曰く『午後六時から十時まで悠紀殿に行はせらるゝ悠紀殿の御祭儀中にあつて地方歌を奏する伶官を率ひて參殿した是れ齋田の監督官たる自分に取り

▲最後のお役目　であり且つ崇嚴極まりなき此の御祭儀に於て自分は大禮高等官の頭位に著き各宮殿下方の在す間近に進んで奉仕したるは其の光榮は實に身に餘る次第である悠紀と言ひ主基と言ひ全國を代表して天照皇大神宮を始め奉り八百萬の神々に　聖上御親ら捧げらるゝ新穀を造り奉つたのであるから其の地方農民の此上なき榮譽に深く感激するは勿論であるが更に

▲精神的の影響　に至つては澤山の喜ぶべき結果を得て居る六ッ美村の齋田に於ては四月二十二日播種をしてから九月二十六日刈取をするまで之に奉仕する青年團の如きも非常に神聖なるものとして獻身的に努力し風害のあつた時など全村協力して人工とは思へぬ程の應急防禦を施した之に依つて其農村の精神的向上を見た事は著しいもので其良感化は附近一帶にまでも及んだ即ち早起の良習慣を作り率先して模範的の青年團や少年團が組織され青年の體量が俄に增した

▲同地方の少年團　は最近竹田宮殿下が成らせられ態々其教練を御覽せられる光榮を被つた程である又た一面に於ては農民をして技術の研究と努力とを充分にすれば必ず立派な米が出來るといふ事を深く感得せしめた、造酒の人々から承はる所に依れば造酒の成績も非常に佳い』との事で齋田に奉仕した人々の名譽は此上もない事であると

▲主基地方の長官　として參殿したる若林香川縣知事は語る『參列し此れが終つて主基殿の祭儀に自分は悠紀殿の祭儀には知事として當つて衣冠の祭服に著替してお役を奉じた今日まで一回式場に入り位置其他に就て習禮を行つたのであるが陛下の著御あらせるゝ御席を距ること程遠からず周圍の狀景悉く森嚴を極め小官として此の儀典に列するは實に恐縮の限りである、今日までの齋田の奉仕に就ては新穀が早稻であつて九月の刈入前後には每年風が吹くので風雨の害に就て自分は農民と共に一方ならぬ心配をした、然し人力の及ぶ限りは充分に努力したのである齋田の附近にも一兩度の風害はあつたが幸ひにも齋田のみは何等の障害を受けず幾ど理想的の新穀を奉獻し得たのは實に吾が皇祖皇宗と八百萬の神々の御加護に依るものと深く感佩せらるゝのである(京都特派員發)

◎印度の形勢

在東京　一記者

▲近頃歐米諸國より來る報道、往々印度に於て驚くべき大騷亂起り、其形勢容易ならざるを傳ふるのみならず、甚だしきは英國陸相キッチナー元帥か、巴里を訪うて接東向したるは、東歐の戰線に莅むにあらず、實は印度鎭撫の爲めなりとまで喧すものすらこれ有り、卒然之を聽くものは皆錯愕の色あり、併ながら恐くは是れ事實にあらず。

▲印度は人の知る如く、年が年中一揆暴動沙汰の斷へざるところなり、今日とても何れかの邊陬には暴動を企るものもあるべし、又英國政治に不平を懷くものも隨所に出沒し居りしと雖も、是等は印度にありては尋常の事たり、昨今印度不穩なりと云ふも、世間未だ其何れの地點が不穩なるやを指示し得るものあらず豫てより天下の耳目を集むると云つたるベンガル州、即ちカルカッタを中心とする印度腹心の地は平穩無事なり、新首都デリーは言ふに及ばず、西南方ボンベイ、マドラス諸地亦一事の傳ふべきもの無しと云ふに於て印度に大擾亂勃發せりといふとは、到底解すべからざるの風說なり、尤も隣邦アフガニスタン、ベルチスタン地方に不穩の兆候ありと傳ふるものあり、是等地方は波斯と密接の關係あり、且獨逸にして若し土耳其より手を廻さば、或は多少之を攪亂することもあるべしと雖も、是は寧ろ巴附幹方面より之を甕御するを便とすべく、假令多少の動搖ありとも直ちに印度の大禍亂を以て之を目すべからざるや論なし。

▲初め英國人は、若し英佛基督教國を以て土耳古を攻擊せば、印度埃及其他の回教民は其宗教的偏執を以て共同一致し反抗すべしと懸念したり併しながら實際は然らずして、今春以來英佛聯合軍土耳其海峽を攻擊するも所在回教民は些の動搖をもせず、現に印度兵約二十萬は母國の爲めに歐洲の戰線に立ちて、忠勇顯著なりと稱するにあらずや、今に及びて回教民の反抗を云々するは、蓋し揣摩を誤れる爲なり。

▲然りとするも刻下の形勢は決して英吉利の爲めに康泰なりと云ふ可からざるなり、英佛聯合軍土耳其海峽を攻擊すること十箇月に及ぶも未だ其功を奏せず、獨墺軍勃牙利軍と共に塞爾比亞を攻略して巴爾幹諸邦皆靡披す、近報獨逸潜航艇の地中海に跋扈するを傳ふ、甚だしきは蘇士封鎖をさへ傳ふるものあり、是等は畢竟一時の恐惶に出るものに外ならずと雖も、萬一にも敵軍の增長に任せて獨墺土諸軍にして蘇士を衝き埃及を侵すがごときとあらば、英帝國は其東西の領土を中斷さるゝの姿を成し其の不便不利言ふ可らず、少とも獨逸は此中斷策に熱中し居るや言を待たずして、一時たりとも此中斷策にして行はるゝあらば、或は佛英若くば埃及をして其方嚮に惑はしむることなきを保せず、是等最近に至りキッチナー元帥の出征を見る所にして元帥の任務を重大なりと云ふは、即ち此中斷策を打破し、及び巴爾幹の頹勢を挽回するの大責任を負ふを以てなり、此事や實に伊太利に取りても最大事たり、區々印度邊陬の小事故の如きは豈言ふに足らむや。

人事消息

▲ハリス、ルロー氏夫妻(佛國公使館員)十六日入京朝鮮ホテルへ投宿
▲ルーシーガー氏(米國商人)同上

◎龍山の賑ひ

[illegible]に至り練り[illegible]くこととなれば[illegible]大假裝行列其他の催しあり其他町[illegible]列の內に入り[illegible]出にて屋臺を[illegible]酒を供する由なれば提灯行列解散[illegible]伊藤組の主催にて十五日大典奉祝の[illegible]餘興として素人相撲開催のことは既[illegible]せたる明治町三丁目四十九番地[illegible]成の[illegible]同町五十三番地[illegible]傷なきも重きは治療十日間を要すべしと[illegible]

京日案內

●普通　一回前金三十錢(無割引)　匿名一回每に金五錢增

●會計係一名　外交員數名　集金人一名　至急募集す　櫻井町二の一九七　△京城雜誌講讀會　937

●看護婦入用　希望者は至急本人直接來談あれ　明治町　中島醫院　934

●門生入用　希望者本人來談あれ　當地に身元保證人を要す　京城黃金町一丁目　岩田寫眞館　922

●美味滋養玄米豆腐　賣行飛ぶ如し　各地製造特約す　希望者照會あれ　元山旭町　▲玄米トーフ製造所　927

●番外　一回前金六十錢(無割引)　匿名一回每に金五錢增

●平壤內田釀　醬油は今回の大典共進會に於て廉價と證明に依る倍舊の御引立を乞ふ　●內田出張店　新龍山局前　電話二四六　939

京城春川間自働車　乘合　貸切　金片道四圓　京城發午前七時　春川發午後二時　電話京城明治町一八四六　取次　京城支配人　●春川自働車商會　松田壽男　935

恩給　金即時立替　低利手數料極安　各地代理店依囑　不便法有　若草町停留場南入道路突當　京城若草町百〇六　電話二二六三番　西村商會　857

得意廻員入用　年齡十八歲以上廿四歲迄身體强壯なる者採用す但保證人二名を要す　京城南大門通六丁目　京城支店　933

店員二名入用　十五歲迄尋常小學校卒業程度　市內確實の保證人二名を要す　京城本町一丁目　東京塚谷出張店　924

●質屋　土藏新築落成に付　前同樣御引立願上候　黃金町二丁目橋通入　電話二九一六番　田村質店　902

橋本齒科醫院　京城南山町三丁目巴城舘通　電話二九二〇番　齒科醫學士　橋本清次郎　925

●移轉先●本町四ノ四七大東湯前入　鍼灸術　按摩術　醫鍼堂　術者　萩原賴綱　太田金松　澁谷丈八　電話二五五〇番　917

產婆　潔入ツマ　新龍山漢江通原病院向側　山野改メ　電話六一九番　888

●當店代替りの風評有之候へ共事實無根にて不相變從前通り親切丁寧に御取扱可申候(支那領事館筋)　明治町二丁目八　電話一〇九六番　○南質店　873

●恩給年金類立替　今般業務擴張の爲め左記處へ移轉す(黃金町通櫻井町へ入る西四ツ角)　長電話一一三一番　△博多屋本店　856

恩給年金類立替　京城本町二丁目五十三番地　京城銀行橫入　吉田屋　830

質店　弊店は完全なる倉庫を有し懇切に御取扱申候　ふとんあずかり○債券公債買受申候　本町四の一五　電話一〇三二　福田屋質店　783

■安奉沿線五龍背驛を距る二丁　■閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し　滿洲五龍背溫泉　■風光絕佳にして一大樂園地なり　■諸病に特効あり理想的療養場なり　■宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

奉祝御大典　京城　竹下康之

奉祝御大典　京城　松井民次郎

奉祝御大典　朔州　金山

奉祝御大典　京城　津田鍛雄

大典奉祝々賀會
（上）諸員祝賀會場より模擬店に向ふ
（下）雨中の模擬店

◎歡樂盡きせぬ　慶會樓の大園遊會

芽出度くも芽出度き　聖上陛下即位大禮の奉祝大園遊會は十六日午後一時半秋雨そぼ降る景福宮內にて擧げられぬ、朝の十時頃より降り初めし雨は正午過ぎより次第に強く降り頻りたるも今日の芽出度き祝宴に洩るゝは一代の心殘りと一時を過ぐる頃よりは自動車、馬車、騎馬、人俥にて參集する來賓引きも切らず大禮服の嚴めしき軍服あり、金色燦たる禮服の文官あり、夫人を伴ひたる絹帽の外國領事あり裾模樣の貴婦人あり文武官、民間有力者及び其夫人等の來場せるもの三千と註せらる、午後一時半天地に轟く爆竹の音を合圖に慶會樓下の大廣間に設らへられたる食堂は開かれぬ、場內の設備萬事行屆き一號より五號までの幾十臺の食卓は秩序正しく陳べられ三千の來賓が定められたる席に著きたる頃脫帽の聲聞え場內粛として聲なき裡彼方の音樂堂より嚠喨たる音樂の音聞え君が八千代を壽ほぐ國歌『君ケ代』を吹奏す、君ケ代の吹奏終りて主客共に祝盃を擧る折柄山縣政務總監は立ちて　天皇陛下の萬歲を唱し奉れば三千の會衆之れに和して萬歲を稱ふる事三度、實に芽出度き其聲は天地に轟き北岳も爲めに搖がん許り、斯くて來賓一同祝杯を擧げて　陛下の祝福を祈り奉り嚠喨たる奏樂裡に食堂を閉じ更に第三の爆竹の音を合圖に三千の會衆は相共に神武門內醉香亭池畔の模擬店に向ひぬ

▲模擬店競べ

曠古の大典を祝し奉る大園遊會でもあり、且つは主人側には山縣政務總監を始め數寄者の多い上に市內各料理店では園遊會の模擬店で覇を較べをすると云ふ風もあり旁々消息通は什麼な催しがある定めてアット云はせる趣向があるだらうかと種々な申合せがあつた△果せる哉此日の園遊會こそ前代曾て見た事のない趣向が凝らされてあつた△所は景福宮神武門內秋色に深き醉香亭池畔、亭々たる老松の下、紅く染めたる楓の傍に幾つも設らへられた模擬店の料理は見るからに嬉しい江戶前△趣向も風味も總で遊戲なく江戶趣味を發揮して居たのは何んと云へぬ嬉しさを感じた△唯だ一ツ殘念であつたのは……主人側も來賓側も一樣にソー思つたのは此日の雨であつた△併しその雨も道の泥濘も何んのその三千の會衆は食堂が終ると直ぐ潮の樣に此江戶趣味の園遊會場に押し寄せた△第一番には白水の甘酒店、流石に白水の園前あり上戶までが『之れは旨いと許りに大恐悅△喜久家の胡蘿蔔は却々の大評判此の前菊料理を出して今度は淡白と胡蘿蔔にした所は道が喜久家の先生だ其先生が雨の降るのに白襟紋付で斡旋大に努て居たのは感心△初音の鮪の刺身は殊の外嬉しかつた、池畔に葭簀の瀟洒な店を拵へて居た所など大いに江戶趣味を發揮して居た、開店後大入滿員間もなく品切れとなつたのは無理もない△一番嬉しかつたのはアノ日本橋の食傷橫町になぞらへた食傷新道と棒杭があつて——入口の門には奉祝と掲げた下の兩側に木原店中とあつたので細かい所まで氣を付けて永く忘れて居た江戶趣味を味はさした主人側の苦心が偲ばれた食傷新道の中には千代本の納豆店——女將が縞の著物で甲斐々々敷く女中を指揮して居たのは喜久家の先生と相對して好一對△荒巻に鮭の淺漬、これめし、鯨汁、これは粟漬、燒蛤、五目めし……と家並にあつて忘れて居ても江戶の昔が偲ばれて來る△花月の芋と章魚のおでんも却々の大人氣女將が白帽子を冠つた姿で來るお客におでんを勸めて居る△光昇樓の牡蠣めしも上々の評判△靜養軒の龜井戶仕出しの鯉コクは當日最も目に著いた趣向△數寄を凝らしたのは靑葉亭の忍川だつた、格子から掛行燈から上野山下の忍川其儘、湯豆腐の風味は又格別『之れは乙だ』を下戶も上戶も押し掛け詰め掛ける其外三福の壽司、さつまあげ、カフエー、汁粉ねぎま、うどんそば等十七の模擬店は雨の降るのに大繁昌△池畔から香亭に懸けられたケーブルカーは雨の爲めに乘ることの出來なかつたのは殘念△斯る大趣向を凝らされたのに、雨の降つたのは返へす〳〵も主客共に殘念に思つた事だ△歸へり掛け勤政殿の廊下には懸賞付きの遊戲場が設けられた、玉轉がしに、達摩倒し、射的など、赤い顏の大供が今日は子供の如う『玉轉がしをやつて『ソレヤ一等だつたと賞品を貰つて喜ぶ所△始めから終りまで至れり盡くせりで三千の來賓が充分の歡を盡くして解散したのは三時から四時までの間であつた

◎本日の奉祝會　午後一時半より慶會樓にて

御大典最後日たる十七日の府民奉祝會は午後一時三十分より景福宮內慶會樓にて開催午後一時より受付開始同三十分第一爆竹を合圖に宴を開き君ケ代の奏樂に次で釜谷府尹萬歲を奉唱一同これに唱和、第二爆竹にて模擬店開始、當日演藝館にては東京藝術座松井須磨子一行のシユミツトボン作喜劇『結婚申込』あり第一回は正午より開始、第二回は午後三時より開演す、尙ほ當日は雨天にても決行する由

▲演藝館で藝術座劇　府民奉祝會の大餘興として特に須磨子一行で『結婚申込』を二回開演

本日景福宮にて催さるゝ京城官民聯合奉祝會委員は目下藝術座の來京中なるを機とし滿鮮巡業興行元佐久良座村上氏を通じて藝術座舞臺監督島村抱月氏に幹部技藝員の奉祝出演を求めたるに氏は快諾し斯かる祝賀會の際には最も恰好の演し物たるシユミツトボン原作喜劇『結婚申込』一幕を上場することに決定し舞臺は當協贊會の演藝館のそれを其儘使用し尙ほ觀覽席は一時に全部の會員を收容し得ざるを以て同じものを續けて前後二回開場することゝしたるが登場人物は松井須磨子は娘ナタリヤに中井哲は主人ステパンに勝見要太郎は客イワンに扮し各獨特の技藝を發揮することとなれば定めて滿場の喝采を博す可し

◎大提灯行列!!　愈々今晚—振つて參加せよ

待ちに待たれし府民大提灯行列は愈よ今十七日午後五時から催されます今日は千載一遇の御大典奉祝最終日でありますから京城府民は朝から色んな催しをして滿腔の祝意を表する事になつて居ますが夜間の大提灯行列は又前後未曾有のものだらうと思はれます市內の各商店や各製造工場では既に數日前から大準備に取かゝつて居ります何れも奇想天外の珍趣好で見物をあつと言はせる計畫だ相です、人の山、火の海、今夜の大提灯行列が如何に旺んなものなるかは蓋し想像だに及ばぬ事と思はれます、又警備の當局者も今夜だけは野暮を言はず充分奉祝して貰ふ考へだ相ですから卅餘萬の府民諸君はふるつて參加致されたい、白酒黒酒の上機嫌で一同共に　天皇陛下の萬々歲を奉祝致しませう

△集合時間（十七日午後五時）△集合場所（光化門前廣場(圓)）△行列順（先著順）△道筋　光化門發＝鍾路＝南大門通＝朝鮮銀行前＝本町通＝新町＝大和町＝總督官邸（萬歲三唱）＝倭城臺（解散）

◎龍山の大提灯行列　新舊兩市民擧て參加　十七日午後五時參集

十七日夜龍山兩市街にて催さるべき提灯行列は實に空前の大趣向を凝らしたるものにて各町共花飾り美々しき屋臺、さては假裝行列、山車等種々なる餘興あり尙同夜兩市街の市民全部參加の筈にて提灯の如きも別に規定を設けず隨意に調製して參加するも差閊なき事となしたれば成べく多數參加すべく尙集合及び解散地點を左記の如く新舊兩市街別々にしたれば參加者は時刻に遲れぬ樣參集すべし

△舊龍山　和歌の浦廣場に集合、午後六時出發、大島町より元町三丁目に出で四丁目を經て同二丁目に歸り一丁目より靑坡、岡崎町を經て漢江通を一直線に進み龍山驛前より榮町に出で彌生町を一巡し和歌ノ浦附近にて解散

△新龍山　龍山驛前に集合、午後六時出發、鐵道官舍を一巡して龍山橋筋より大島町、元町三丁目、元町二丁目、靑坡、漢江通に至り驛前にて解散

◎會員章は必ず持參せよ　御大禮奉祝宴會

十七日の景福宮內に於ける御大禮奉祝宴會員加名の申込は意外に多かりし爲め十二日正午迄の締切期限も止むなく十五日夕刻迄繰り延べたりしが當日會場の受付所に於ては一々申込みの名簿と對照し假令會員章持參者にても右締切期限迄に申込なき者は止むを得ず絕對に入場を謝絕すべしと右は諸般の準備上非常の齟齬を來し延て一般會員に對して尠からざる迷惑を及ぼすが爲めなりと云ふ

◎マグダの興行差止めらる

十六日夜壽座にて開演の筈なりし藝術座の『マグダ』(四幕)は同日午後突然其筋の命に依り興行を差し止められたり因て同夜の興行は喜劇『熊』(一幕)喜劇『嘲笑』(一幕)及び『[illegible]人』(一幕)を上場し之れにて藝術座の當地興行は千秋樂となれり

◎日の出支店と活動寫眞　今回大禮に際し日活會社が其筋の認可を得陛下御發輦より御即位式に至る迄を謹寫したる寫眞を壽座にて十七日より撮影するに付同支店にては奉祝の意を表し入場券購買者一日三百人を限り美麗なる同店特製の繪葉書十枚を呈上する由

◎壯麗眼を驚かす大饗宴場　全國の名產悉く聚れる賜饌の御獻立

二條離宮內西北隅に當る大饗宴場並に豐樂殿は本日早朝より大禮使事務官奉仕して裝飾其他の準備怠りなし饗宴場は四十一間四面の廣大なる御建物にして

▲近代美術の精華を聚めたるものとも申すべく『竹に虎』或ひは『木賊に兎』など十二支を現はせる精巧限りなき石膏細工の欄間の美なしくも尊く大饗宴中は豐樂殿を覆ふために赤地緞子金鳳凰に朽木花の模樣ある華麗なる幕を四方に垂れらるゝ饗宴席は參列員の拜觀席よりも一段高く設へられ拜觀席は舞臺に向つてゆるやかに傾斜をなし床を設け金モールの縁ある椅子を夥多並べられたるが舞臺は三間四面に朱塗の勾欄を付け四方に黑塗の階段を設け正面は

▲玉座に相對し　天井は種々の草花を現せる美しきステーンドグラスにて張られ絢爛たる金銀の瓔珞を垂れられたる結構壯麗實に眼も眩むばかりなり、また大饗宴場は拜觀席の四圍一段高く先づ玉座の背面なる北廂には帝室技藝委員今尾景年氏の揮毫にかゝる三十二尺の鳳凰に中央は千代を壽ぐ千歲松三幹を表はし右方には山左方には水を配し小葵模樣の紫の縁をつけたる

▲錦の軟障を懸け　東北隅には帝室技藝員野口小蘋女史の揮毫せし櫻田の霞鶴、衣の浦の新樹波、鹽ケ崎の月、矢作川の千鳥の四季の圖に黒田淸輝子の詠進せる風俗歌の色紙を配したる悠紀地方風俗歌の屏風を、西北隅には帝室技藝員竹內栖鳳氏の揮毫にかゝる九十九山の旭に霞、琴平の夕立、關田の稻刈、天霞山の雪の四季の景色圖に八江爲守子の詠進したる風俗歌の色紙を配せる主基地方風俗歌の屏風を立て御母屋の四面には白地絹に紫にて朽木形を染出したる壁代を繞らし

▲其の中央に玉座を設け　御椅子と御臺盤を置き東西南の三方に靑簾を垂れ各皇族方以下參列諸員の食卓は整然と配列され廊下其他に黃菊白菊の盆栽を配置し場內には黃紅紫白其の色とり〳〵なる菊花を以て美々しく裝飾され馥郁たる香氣場に充ち神嚴極りなし

▲御獻立

今日の大饗に當り參列の諸員に賜はる御料理は大膳職にて專ら古典に徵し種々調査の上未明より夫々準備に取かゝられたるが其の

▲御獻立模樣を拜するに御膳部は三大節に則られたるものにて汁の物は赤白の味噌汁と澄し汁の三種とし酢の物としては烏賊、キス、サヨリ類に獨活、大根等を配らはれ、刺身は鯛、鉢肴は鴨、鶉類に松竹の配合、燒物としては鯛を用ひられたるが之れは

▲筏燒と稱し　一尾の大鯛中部を少し宛切取りて其切味を燒き其の殘部を同じく燒きて之に紅白の水引を懸け尾を奉書紙にて包み大皿に盛りて其の上に鱧に切取りたる切味を體裁好く載せ更に切取りたる形跡なきが如く庖丁を加減したるものにて拜するだに立派なるものなり此の外に洲濱臺とて毛系にて松竹梅に鶴龜を編み其の中に五種の交魚を飾りたるものにて總て全國の名產を悉く聚められたり（京都發特電）

[illegible]て中を[illegible]歩くべく其他旅館組合琵琶等ある外美なしき屋臺を曳き出[illegible]所にては所內を裝飾したる外別に催[illegible]止めたるが十七日は一日中三角地附近一帶にては佐久良座の屋[illegible]す筈にて同三四丁目にては町內の行[illegible]しをなさゞるも見物人には一般に祝[illegible]

◎石油を浴びて火傷　京城明治町二丁目東拓社前の空地に於て[illegible]しゐたるもの一つ石油に火の逆入したる爲め俄然竹筒破裂し傍らに居合[illegible]直ちに三名共同町中島醫院に收容して手當を加へし爲め何れも生命に別[illegible]

△虎丸の四つ谷　浪花節[illegible]虎丸はお名殘りとして[illegible]四つ谷[illegible]

△佐久良座　[illegible]

奉祝御大典
京城
小林藤右衞門

奉祝御大典
京城
蛯目萬次郎

奉祝御大典
京城
藤田組出張所

奉祝御大典
靑陽鑛山
古城菅堂
牧山耕藏
中川湊

千生瓢（43）

須藤南翠作　筒井年峰畫

密計（十一）

正國は額手に涙を拂ひて、

『御渡りのよし承はり及び、そゞろ昔の偲ばれて、切ては御聲ばかりでも聞きたうなつて、是れまで立出でおざる。足下が思召しも、正國が心と同じ事。今は何か苦しからう、御入り下され。敵ともなく味方ともなく、只越前の家に在る心にて、暫時算へられて、心ならずも當城に籠め置かれ、越前勢を押へ申す事、全く正國が本意でおざらぬ。去ながら一日も忘れぬ匠作の高恩に、酬ふべき術なく、可惜日を過す心中、御推察下されたい』

『貴殿義を金鐵となし、死を鴻毛となさるゝ事、小可少しも疑ひ申さぬ。さればこそ劍戟矢丸の間を潜り、身

御物語を承はり申すでおざらう』と手を把つて引き入れた。

忠左衛門は心中に、我事成りぬと悦びながら、引かるゝまゝに奥に入り、腰の兩刀を脫して、之を當番の士に渡し、丸腰となつて將監と對座した。姑くあつて將監は、懷舊の情に堪へぬ狀にて語り出た。

『さても足下と我とは、同年といひ同鄕といひ、竹馬の昔より、兄弟にも優して狎れ睦み、生死も一所と誓うた心は、足下にもお覺えおざらう。然るに我は伊賀守殿に附けられて、長濱在番の身となり、長濱擧つて筑前殿に隨身したゝめ、我等も人數に

命を忘れてまで、御尋ね申しておざるわ』

忠左衛門は腰の一瓢を取つて、先づ毒味をした上で、將監に侑めた。將監も快く好意を傾けた。

『能くぞ御入り下された。今宵圖らず御目に掛つて、我志を申した上は、明日討死致すとも、更に心殘りはおざらぬよ』と、三獻を過して忠左衛門に返した。

『結構な御酒頂戴致いた。どれ我等御肴を仕らう』と、座を立たんとした正國、

『お待ちやれ。其肴忠左望みおざるわ』と、呼び留めた

『外ならぬ貴殿の御所望、正國御意に應じ申さう。先づ言はせ』

『先づ其前に申す事おざる。唯今の酒、是ぞ昨日勝家の賜おざるよ』

『何、匠作より下さるゝ酒とな。道は勿體なし。今一獻給はれ』

『幾獻にても過させられへ』と、滿々と注ぐ酒を、正國は押戴いて飲干した。

『宇野殿の好意にて、圖らざるに主君の御酒たまはる事、正國一期の祝著おざる。さらば御肴望ませられへ』

『おゝ望までか。今より越前へ歸參あれ。いかに山路殿』

忠左衛門は衝と手を把つて、右手は早くも懷中の匕首に……

『我等に歸參とや？』

『匠作の御恩な忘れぬとある貴殿の詞、僞りならずば歸參せられう。御身匠作に何と命せられた。伊賀守を守護せよとは命せられたが、筑前に隨身せよとは命せられまい』

『其れ一理、去ながら伊賀守殿、筑州與力の上は、我等も數には漏れ申さぬぢや』

『はゝはゝ小可竹馬の友として左やうな無念者とは知らなんだが、何として粗忽おざらう。伊賀守筑前に隨身の時、何とて其事匠作へ申上げ、其指揮には從はれなんだぞ』

『やッ』

『それ見させ、誠匠作の恩を知らるるなら、伊賀殿の指揮に從ふ要はおざらぬ、貴殿の無念、何と言ひ解く辭おざるか』

『仰せらるゝ所至極おざる。我等も此事匠作に申し上げんとは存じたなれど、三家老無二の隨身の上は、力及ばず、今更後悔仕る』

『一旦の過失是非おざらぬ。さるにても匠作は、今尚足下を恃み思されず、山路歸參致さうならば、伊賀守の小領、丸岡八萬石の城持としようものを』と、旦暮仰せ續けらるゝ、小可竹馬の友として、匠作の御滿足も得させたく、足下の立身をもさせたさに一命を輕んじて、斯く敵中を忍び參つておざる。足下筑州の新恩に溺せんとあらば、宇野忠左衛門を討ち取つて、感賞に與られへ』

忠左衛門は懷中の匕首を投げ出して、山路が前に無手と坐し、尋常に首をさし伸べた

新刊紹介

△歐洲戰亂の前途と戰後の列國（第一巻）著者は東洋拓殖會社の支配人なるが業務の餘暇に執筆せしものにて歐洲戰の起因より戰況の經過、媾和の條件、戰後の列國等に言及し結論せり實業家の著としては頗る面白く且つ現代名流諸大家二十五氏の序文あり時節柄好著たるを失はず（東京麹町區有樂町一の四寶文館之世界社發行六十錢）

△立誌講話（足立栗園講述）本書は既刊叢書第一篇にして勅語の聖旨に基き少年立志の必要を述べ之を古來成功者の事績に徵して證明せり最も適切なる修養書たり（東京神田區奥土代町三の一富田文陽堂三十五錢）

△小學生（十一月號）月世界探險、明かずの函、小鳥の行方など面白い讀物たくさんあり一冊六錢（東京澁谷東エビス文藝社發行）

●商貨交換率

…九日遂に百五十五留と暴落し其後…に十三日には百五十四留
…廿九日 一四九留（見當）
十一月九日 一五五留
同 十三日 一五四留
三十七八留と返見返りしも十月中百…四十…留を前後し更に最近の相場を…

廣西、廣東、廣東三省の境界相接する地方に於て僞皇帝現はれ活動頗る目…號を廣朝新中國皇帝といひ其外號正…もヒユーは自から大皇帝と唱へ其稱…

●中立國商船警戒

中立國の汽船は潜航艇其他の…
一目瞭然たらしめたり又八日神戸よ…り入港せる瑞典船…ト號は船尾に…
…國にイルミネーションを點じ海上遙…かに中立國船たるを判別し得る裝置…

天覽 成簣堂叢書（德富文庫）第七篇 天覽

帝王の儀範と人臣の軌法

帝 範 臣 軌

最上日本紙寫眞石版三度刷 全二册 定價金貳圓五拾錢 郵税金八錢

【本書の來歷】帝範は唐太宗貞觀二十二年、帝親ら撰して太子に貺へ、以て帝王の儀範を垂示し。臣軌は則天武后垂拱元年、后自ら撰して人臣の軌法を說示したるものにして。倶に是れ盛唐帝后の親製する所に係り、後世範軌を双稱して、兩書の本邦に傳來するや久しくして、從て其の刊本の種類も亦夥からず、學者其の憑據する所に迷ふや茲に年あり。而して帝範十二篇は、支那に於ては宋時已に其半を佚し、漸く清朝乾隆の時に至り、永樂大典中より抽出して、單行本として世に出でたり。若し夫れ臣軌に至つては、支那に於て全く散逸し、唯だ賴ひに我が寛文八年の刻本ありて、僅に彼に傳ふるあるのみ。其の學界の至寶、天下の珍籍たるや知る可きのみ。

【原本の價値】此書は我國校勘學の泰斗、狩谷棭齋の手校に係るものにして、楊守敬の『日本訪書志』中に稱する所の日本舊刊本、即ち寛文八年刊本を底本と爲し、其他家藏の舊抄本各種の珍籍異卷、武英殿版本等を以て校合し、詳審精覈を極めたり。凡そ帝範臣軌の天地間に存在するものにして、未だ此書の如く完善なるものあらず。更に棭齋の畏友市野迷庵の校定本に據りて再校補入したるものを、參照して別冊に附したり。一たび之を見る者は、自ら肅然襟を正うして、古人の學問に忠實なるに敬服せずんばあらず。

【石版三度刷】今や此書を成簣堂叢書第七篇に收め、本社獨特の寫眞石版を以て良好の日本紙に印刷し、内容體裁毫も原本と異なる所なからしむ。仍ち棭齋の考證に係る朱、藍、兩體の手記の如き、原本と同樣の字體色刷となし、校合を嚴にして、一點一劃の訛脫なきを期し、此種の覆刻本に於て、未だ曾て見ざる所の墨、朱、藍の石版三度刷となし、以て原本の神彩と、棭齋の篤學の眞面目を傳ふ。

【此書の解題】別冊として『帝範臣軌解題』を添附す、是れ成簣堂文庫主蘇峰學人の記する所にして、此書の來歷、舊刊本及び棭齋手校本の考證等に就て、該博の識之を斷じ、燃犀の眼之を明にし、讀者をして此書の眞値を諒會せしむ。附するに四庫全書總目帝範解題、日本訪書志帝範臣軌解題、右文故事臣軌解題、朝鮮銅活本帝範序文眞影及び序文、松崎慊堂作狩谷棭齋墓碣銘、及び市野迷庵再校本來歷、並に補入表を以てす。仍ち帝範臣軌に關する凡ての考證と、棭齋の爲人を知るに於て、此の如く懇切周到の注意をなしたるもの、亦以て本叢書發行者の好古篤學の一端を證するに足らん。

□□ 眞に是れ君臣鑑戒の明鏡 □□

大賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

奉祝御大典

京城明治町一丁目六十六番地

辻萬八

新刊書御案内

◎財政と金融	廿七版	田尻稻次郎	四〇
◎擔保物權法		三潴信三	二五〇
◎現代式商店の經營		濱田四郎	一八〇
◎都市及電氣鐵道		坂本陽一	一八〇
◎農村發展策		横井時敬	一二〇
◎最新實驗養鷄法		長崎發生	九〇
◎科學の天地		小林鶯里	一〇〇
◎日記及語錄		清澤全集	二〇〇
◎楷書の速成		岡山高蔭	二〇
◎圍碁妙選		方圓社	四〇
◎戰に使して		梵人冠	一六〇
◎稻妻		森林太郎	九〇
◎灯ともし頃		恒川陽一郎	八〇
◎情死するまで		池内祥鋒	八五
◎放言錄		浪六	一二〇
◎伊藤仁齋修養訓		足立栗園	六〇
◎道德と經濟		中島力造	六〇
◎現代の青年		尾崎行雄	一二〇
◎綜和漢名詩鈔		結城蓄堂	一五〇
◎朝鮮熟語解譯		山之口彌五	五五
◎自修リーダー研究四ノB		山田英研究	八〇
◎式辭と演說		极樂小口	一三〇
◎碧巖錄講話	上卷	釋宗演	一五〇

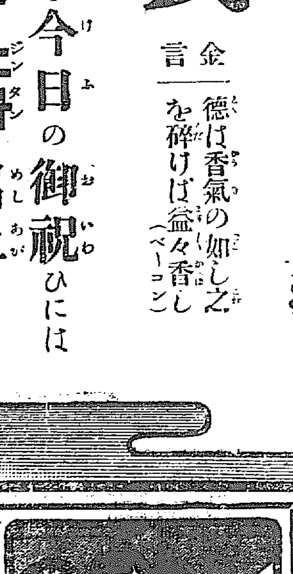
京城本町 電話二〇八六番 振替京城二五七二
大阪屋號書店

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

京城本町壹丁目

★株式會社百三十銀行京城支店

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候



奉祝

三井物産株式會社

□取扱品目□

九州炭 アルコール
食鹽 セメント
砂糖 麥粉
建築材料 板硝子
綿布 肥料
鑛山用諸機械類 電氣機械類
其他機械類

京城支店

都山流 尺八 音譜

音譜解說（價三十錢 送料二錢）
俗曲集（上編中編 各十四錢 送料各二錢）
秋の曲（價廿五錢）
月刊 都山流樂報（十錢 送料一錢）

發行所 大阪 前川合名會社

奉祝御大典

京城黃金町

清華亭

電話八二五番